





事業番号	11 07 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	まちづくり推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課	
		実施期間	S43 ~	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現			③人口の社会増を実現		
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造					

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 「自然環境を活かし、暮らしや産業、観光の基盤となる魅力ある都市づくり」 ・信州地域デザインセンターにより広域的かつ専門的、多様な視点での市町村へのまちづくり支援 ・都市計画基礎調査の結果を踏まえた、都市計画区域マスタープランや各種都市計画の決定 ・専門的な見地からの意見を反映した魅力的なまちづくりの推進 など 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月に信州地域デザインセンターを開所し、地域主体のまちづくり支援を開始 ・都市計画区域指定44市町村を5ブロックにわけ、順次都市計画基礎調査を実施 ・各都市計画区域のまちづくりの目標や基本理念、都市計画決定の方向性等を定めた都市計画区域マスタープランを改定 ・都市計画審議会などの専門的な審議会の開催 など 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の観点から都市計画基礎調査のデータのオープン化が進んでいない ・都市計画区域毎に作られている都市計画区域マスタープランの上位計画である圏域マスタープランが古く、策定から概ね15年経過しているが見直しが進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を秘匿した情報公開の在り方を検討し都市計画基礎調査のデータのオープン化に対応 ・生活圏の多様化や人口減少を鑑み、地域ではなく圏域単位を基本とした計画の作成を検討

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 信州地域デザインセンター(UDC信州)による市町村へのまちづくり支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が抱えるまちづくりの課題の解決に向け、様々な方法により支援 ・セミナー等を開催し、「公・民・学連携」を現場で進める「まちづくり人材」を育成 ・県内のまちづくりに係る情報を集約し、公式ホームページやFacebookなどにより内外に発信 	 <p>▲高校と連携した町の魅力探し</p>	 <p>▲民間企業と連携した広域的な社会実験</p>
	✓ 都市計画基礎調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・合理的かつ公平・公正な都市計画の推進のため、都市計画法第6条の規定による基礎調査を概ね5年ごとに実施し、都市における人口、土地利用等のデータを収集 	 <p>▲民間企業と連携した社会実験</p>	 <p>▲UDC信州シンポジウム2021(オンライン)</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<都市計画推進費> 【ゼロカーボン】 広域シェアサイクル社会実験を実施(上田市・千曲市) 【学びの県づくり】 探究活動を通じた高校生との協働によるまちづくり・WS等(大町市・上田市)、大学生との協働によるまちづくり・WS等(千曲市・大町市)、地元中学生との協働によるまちづくり・WS等(塩尻市)		

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	市町村と協働のまちづくり新規実施件数	件	19	→	3	→	3	3
2	都市計画基礎調査実施市町村数	市町村	11	→	9	→	8	3
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	15,751	9,741	
	当初予算	55,505	42,297	要求 45,452 予算案
	補正予算	-500		
	合計(A)	70,756	52,038	要求 45,452 予算案
	うち一般財源	70,573	41,611	要求 44,766 予算案
	決算額(B)	63,600		
職員数(人)	4.8	4.8	4.8	

設定理由	成果指標	1.UDC信州の活動を通じて、地域主体のまちづくりを推進していくため、新規実施件数を指標とした。 2.都市計画法第6条第1項の規定により、都市計画区域内の状況を具体的・定量的に把握し、都市計画作成のためのデータを蓄積する必要があるため。
	目標値	1.継続的な事業実施地区を増やしていくため、年間3件の新規実施件数の確保を目指す。 2.都市計画区域指定の全44市町村について、一体的な土地利用の隣接市町村が同時に調査が実施できるよう配慮した上で、各市町村が概ね5年毎に調査が実施できる数値を設定。

事業番号	11 07 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	まちづくり推進費		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	都市計画諸費	1,659 千円	1,723 千円	要求 予算案 1,332 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	都市計画審議会の開催	直接	都市計画に関する事項の調査審議等を行うため、都市計画審議会を開催 【開催回数:4回】		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	都市計画推進費	53,181 千円	39,909 千円	要求 予算案 43,454 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	都市計画基礎調査業務委託	委託	人口、産業、土地利用等の都市計画に関する基礎調査を実施 【市町村数:3市町村/44市町村】		
2	信州地域デザインセンター事業	直接	信州地域デザインセンターを運営し、まちづくり支援、まちづくりセミナー等を実施 【まちづくり支援件数:15件、セミナー開催回数:6回】		
3	信州まちなか快適空間創出事業	委託	コンパクトシティ形成に寄与する「歩きやすいまち」「歩きたくなるまち」のモデル都市を造るため、社会実験等を実施し、ウォークアブルなまちづくりを始めるための後押しを行う。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	住宅総務費(開発審査会)	665 千円	665 千円	要求 予算案 666 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	開発審査会の開催	直接	市街化調整区域の開発許可に関する審議等を行うため、開発審査会を開催 【開催回数:6回】		